◆概要

○名称： 片倉城跡公園（かたくらじょうせきこうえん）
○所在： 八王子市片倉町 2475
○種別： 特殊公園（歴史）
○面積： 57,325 ㎡
○開園： 昭和 47 年 3 月 18 日

◆環境

片倉城跡は、北は湯殿川、南は兵衛川、東側は国道 16 号線、南側を走る JR 横浜線に囲まれた区域で、小比企丘陵の東の先端部分に位置し、西側の台地を除く北・南・東の三方は、江戸時代には沼地だったと言われています。

標高は 110~144m程度で、北側の数箇所に湧水があり、公園には湧水を生かした沼・菖蒲田・水車などがあるほか、周辺には現在も若干の水田が残っています。小比企丘陵の広大な樹林地から低湿地へ移り変わる辺縁の区域で、雑木林･社寺林・草原・水路・湿原・沼など、非常に多様な環境を有しています。また本丸･二の丸･空堀など片倉城跡の遺構が残されており、歴史と自然に触れられる場所として親しまれ、現在は公園として利用されています。

◆歴史

現存する遺構は、歴史的にはほとんど不明ですが、室町時代の初期に築城されたといわれています。

15 世紀後半、鎌倉幕府初期の重臣･大江広元を祖にもち関東管領家の扇谷上杉氏の家臣であった長井氏によって築城されたともいわれていますが定かではなく、また城主も城が放棄された時期も明確には判っていませんが、扇谷上杉朝定によって再築された深大寺城と、築城の特徴が類似しています。

先端部分の東側郭（本丸広場）が主郭で、住吉神社のある所が腰郭、西郭（二の丸広場）は南に大きく張り出し、東部の主郭を守るような形を成し、その前方には、大手道が低い位置を横切っています。この方面から来る敵に対して防御を考慮した造りです。二つの郭は空堀によって区画され、空堀は鉤の手に掘り込んであり、曳橋（ひきばし）か跳橋（はねばし）によって連絡されていたと考えられます。西郭（二の丸広場）は、東郭に比べて約２倍の広さを持ち、ほぼ完全に空堀が巡らされており、その空堀は北に向かって深く落ち込み、そこに湧水があります。

後世の改変が加えられているものの空堀・土塁等の名残りがあり、15 世紀後半の中世城郭の形態を示す典型的なものです。平成 11 年３月、東京都から史跡に指定されています。

※東京都教育庁資料・八王子市文化財課資料をもとに記述

本丸広場

城郭の遺構を残す空堀

二の丸広場

雑木林の林間を縫う遊歩道

ヤマブキソウの黄に染まる奥の沢（5月）

春~初夏の公園散策マップ

木橋でとんぼ沼と菖蒲田を渡る（6月）

棚田に咲く菖蒲（6月）

湿生植物の見られる園路

水車小屋（市職員の手づくり）

里山らしさを感じる杉木立

◆自然

樹林・草地･湿地･水面などの多様な環境を有しているため、豊かな動植物に恵まれ、四季折々の自然を楽しむことができます。

●植物
元々あった植物に加えて移植された種もあるため、非常に多くの植物が見られます。昭和 62 年の調査では樹木 107 種・草花 95 種が確認されています。

●動物
ノウサギ･イタチ等の哺乳類のほか、鳥類ではキジ･ヒヨドリ・シジュウカラ等のほか、カワセミ・カルガモ・コサギ等の水辺の鳥も見ることができます。

●昆虫
カナブン・シロスジカミキリ等の甲虫を始め森林性の種、ベニシジミ等のチョウやバッタの仲間等の草原性の種、オオシオカラトンボやヤンマ等トンボの仲間、ゲンジボタル・ゲンゴロウ・トンボのヤゴ等の水棲昆虫など、多種が見られます。

●水棲生物
コイ・ドジョウ等の魚類やサワガニ・カワニナ等の甲殻類、貝類が生息しています。

公園の自然環境は、人が手を加えて維持してきた里山の環境です。放置され荒れている所もあるため、今後は手を加えながら環境改善を進めて行きます。

◆主な樹木・草花の花ごよみ

月	3			4			5			6			7		
対象 旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
● 樹 木															
キ ブ シ		■	■	■	■										
コ ブ シ		■	■	■											
ソメイヨシノ			■	■											
ヤマザクラ					■	■									
ユキヤナギ			■	■	■	■									
ナンジャモンジャノキ							■	■							
ホオノキ								■	■						
エゴノキ									■	■	■				
ヤマボウシ									■	■	■	■			
ネムノキ												■	■	■	■
● 草 花															
アズマイチゲ		■	■												
カタクリ			■	■											
ニリンソウ					■	■									
イチリンソウ						■									
ヤマブキソウ							■	■							
チゴユリ						■	■								
コウホネ								■	■	■	■				
スイレン								■	■	■	■	■	■	■	
キショウブ								■	■	■					
ア ヤ メ									■	■	■				
ハナショウブ										■	■	■			